



平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 佐渡汽船株式会社

コード番号 9176 URL <http://www.sadokisen.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川 健

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 土屋 亨 TEL 025-245-2311

四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無: 無

四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績(平成29年1月1日~平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	4,751	0.0	△855	ー	△912	ー	△901	ー
28年12月期第2四半期	4,751	△4.6	△598	ー	△668	ー	△726	ー

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 △907百万円 (ー%) 28年12月期第2四半期 △735百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	△63.59	ー
28年12月期第2四半期	△51.37	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第2四半期	15,835	1,641	7.7
28年12月期	15,858	2,580	13.3

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 1,223百万円 28年12月期 2,116百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	ー	ー	ー	0.00	0.00
29年12月期	ー	ー	ー	ー	ー
29年12月期(予想)	ー	ー	ー	ー	ー

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

(注) 平成29年12月期の配当につきましては、現段階では未定とさせていただきます。

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日~平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,842	8.1	238	ー	109	ー	54	ー	3.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年12月期2Q	14,275,450株	28年12月期	14,275,450株
② 期末自己株式数	29年12月期2Q	87,147株	28年12月期	112,338株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年12月期2Q	14,170,310株	28年12月期2Q	14,150,913株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
(第2四半期連結累計期間)	6
四半期連結包括利益計算書	
(第2四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境が緩やかに回復しているものの、英国のEU離脱、米国新政権の経済・外交政策、東アジア情勢等の影響により、先行き不透明な状況が続きました。

こうした状況の中、当社では安全運航の徹底とともに積極的な営業展開を図りました。その結果、ゴールデン・ウィーク期間中が曜日配列にも恵まれ好調であったこと、営業施策としてインバウンド誘致に取り組んだ結果、輸送量全体に占める割合はまだ少ないもののインバウンド団体が増加傾向にあること等により、輸送状況は回復基調で推移し、売上高は前年並みとなりました。

また、当社では4月1日より「有人国境離島地域の保全及び特定有人国境離島地域に係る地域社会の維持に関する特別措置法」に基づき、国及び地元自治体の補助を受けて島民旅客運賃（島民割引）を新設、実施しております。これにより、カーフェリーから収入単価の高いジェットフォイルへの転移が見られ、利用形態において変化が起きております。

一方、費用面においては、原油価格の上昇に伴い燃料費が大幅に増加した他、船舶に係る修繕費も増加となりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は4,751,719千円（前年同期比0.0%増）、営業損失は855,943千円（前年同期は598,780千円の営業損失）、経常損失は912,782千円（前年同期は668,186千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は901,125千円（前年同期は726,890千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。なお、当社グループの売上高は事業の性質上、第3四半期に著しく増加する傾向にあり季節的変動が顕著であります。

①海運

当第2四半期連結累計期間の旅客輸送人員は622,507人（前年同期比0.9%減）、自動車航送台数は乗用車換算で88,461台（前年同期比0.7%増）、貨物輸送トン数は75,350トン（前年同期比0.9%増）となりました。

以上の結果、売上高は3,189,681千円（前年同期比0.9%減）、セグメント損失（営業損失）は791,309千円（前年同期は527,429千円のセグメント損失（営業損失））となりました。

②一般貨物自動車運送

当第2四半期連結累計期間の売上高は752,564千円（前年同期比1.9%増）、セグメント損失（営業損失）は6,104千円（前年同期は5,407千円のセグメント損失（営業損失））となりました。

③売店・飲食

当第2四半期連結累計期間の売上高は421,762千円（前年同期比0.3%増）、セグメント損失（営業損失）は32,240千円（前年同期は42,445千円のセグメント損失（営業損失））となりました。

④観光

当第2四半期連結累計期間の売上高は281,573千円（前年同期比1.6%増）、セグメント損失（営業損失）は49,019千円（前年同期は45,429千円のセグメント損失（営業損失））となりました。

⑤その他

当第2四半期連結累計期間の売上高は106,139千円（前年同期比8.5%増）、セグメント利益（営業利益）は6,956千円（前年同期比289.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ23,796千円減少し15,835,126千円となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ129,235千円減少し3,745,845千円となりました。これは、受取手形及び売掛金が153,118千円増加したものの、現金及び預金が326,901千円減少したことが主な要因であります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ110,721千円増加し12,046,974千円となりました。これは、建物(純額)勘定が124,267千円増加したことが主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ914,737千円増加し14,193,140千円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べ442,920千円増加し3,983,115千円となりました。これは、短期借入金が96,600千円、1年内返済予定の長期借入金が76,847千円、その他が253,527千円それぞれ増加したことが主な要因であります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ471,817千円増加し10,210,025千円となりました。これは、社債が210,020千円減少したものの、長期借入金が587,281千円、特別修繕引当金が93,399千円それぞれ増加したことが主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ938,533千円減少し1,641,986千円となりました。これは、新株予約権が31,289千円減少したこと、901,125千円の親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年12月期の業績予想につきましては、平成29年2月17日公表の数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,111,021	1,784,120
受取手形及び売掛金	748,619	901,737
たな卸資産	797,953	820,279
繰延税金資産	14,075	16,333
その他	207,733	228,012
貸倒引当金	△4,321	△4,636
流動資産合計	3,875,080	3,745,845
固定資産		
有形固定資産		
船舶(純額)	5,712,208	5,631,397
建物(純額)	2,814,824	2,939,091
土地	1,738,812	1,738,812
建設仮勘定	97,099	98,580
その他(純額)	824,712	859,971
有形固定資産合計	11,187,655	11,267,851
無形固定資産		
その他	177,514	193,832
無形固定資産合計	177,514	193,832
投資その他の資産		
投資有価証券	173,709	181,203
長期前払費用	302,653	306,362
繰延税金資産	38,249	39,539
その他	56,506	58,187
貸倒引当金	△33	—
投資その他の資産合計	571,084	585,291
固定資産合計	11,936,253	12,046,974
繰延資産		
社債発行費	47,589	42,307
繰延資産合計	47,589	42,307
資産合計	15,858,922	15,835,126

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	454,608	473,746
短期借入金	157,400	254,000
1年内償還予定の社債	420,040	420,040
1年内返済予定の長期借入金	1,681,268	1,758,115
未払法人税等	40,384	33,821
賞与引当金	45,496	48,867
その他	740,999	994,526
流動負債合計	3,540,195	3,983,115
固定負債		
社債	1,819,140	1,609,120
長期借入金	6,711,144	7,298,425
役員退職慰労引当金	56,255	61,041
退職給付に係る負債	824,161	841,219
特別修繕引当金	105,836	199,235
資産除去債務	27,088	27,358
その他	194,584	173,627
固定負債合計	9,738,208	10,210,025
負債合計	13,278,403	14,193,140
純資産の部		
株主資本		
資本金	843,135	843,135
資本剰余金	651,203	651,915
利益剰余金	644,115	△257,010
自己株式	△46,432	△40,210
株主資本合計	2,092,021	1,197,830
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,969	25,290
その他の包括利益累計額合計	24,969	25,290
新株予約権	66,570	35,281
非支配株主持分	396,959	383,585
純資産合計	2,580,519	1,641,986
負債純資産合計	15,858,922	15,835,126

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	4,751,687	4,751,719
売上原価	4,852,985	5,135,757
売上総損失(△)	△101,298	△384,038
販売費及び一般管理費	497,482	471,905
営業損失(△)	△598,780	△855,943
営業外収益		
固定資産賃貸料	34,721	38,720
受取利息	213	113
受取配当金	4,149	4,201
その他	23,552	24,578
営業外収益合計	62,635	67,612
営業外費用		
支払利息	93,861	87,458
固定資産賃貸費用	24,860	21,518
その他	13,320	15,475
営業外費用合計	132,041	124,451
経常損失(△)	△668,186	△912,782
特別利益		
固定資産売却益	7,792	7,365
新株予約権戻入益	—	24,984
特別利益合計	7,792	32,349
特別損失		
固定資産売却損	925	741
固定資産除却損	7,109	3,679
特別損失合計	8,034	4,420
税金等調整前四半期純損失(△)	△668,428	△884,853
法人税、住民税及び事業税	9,310	31,125
法人税等調整額	49,068	△7,932
法人税等合計	58,378	23,193
四半期純損失(△)	△726,806	△908,046
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	84	△6,921
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△726,890	△901,125

四半期連結包括利益計算書
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純損失(△)	△726,806	△908,046
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,341	341
その他の包括利益合計	△8,341	341
四半期包括利益	△735,147	△907,705
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△734,922	△900,804
非支配株主に係る四半期包括利益	△225	△6,901

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	海運	一般貨物 自動車運送	売店・飲食	観光	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,217,452	738,621	420,640	277,118	4,653,831	97,856	4,751,687
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,209	168,014	14,645	195,030	379,898	93,374	473,272
計	3,219,661	906,635	435,285	472,148	5,033,729	191,230	5,224,959
セグメント利益又は損失(△)	△527,429	△5,407	△42,445	△45,429	△620,710	1,784	△618,926

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物サービス事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△620,710
「その他」の区分の利益	1,784
セグメント間取引消去	20,146
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△598,780

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	海運	一般貨物 自動車運送	売店・飲食	観光	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,189,681	752,564	421,762	281,573	4,645,580	106,139	4,751,719
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,664	164,431	17,953	196,607	380,655	93,157	473,812
計	3,191,345	916,995	439,715	478,180	5,026,235	199,296	5,225,531
セグメント利益又は損失(△)	△791,309	△6,104	△32,240	△49,019	△878,672	6,956	△871,716

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物サービス事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△878,672
「その他」の区分の利益	6,956
セグメント間取引消去	15,773
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△855,943